

令和5年度 聴覚サポート 実績報告

岐阜県では、令和元年度より飛騨地区、令和2年度より東濃地区における聴覚障がい児童生徒の支援充実事業が始まりました。

飛騨地域では飛騨教育事務所と飛騨特別支援学校、東濃地区では東濃教育事務所と恵那特別支援学校が連携して拠点となり、岐阜聾学校の支援のもと各関連機関とも連携を図りながら、聴覚障がいのある幼児児童生徒とその保護者、関わる方々からの相談をお受けしたり、聴覚障がいとその支援についての理解・啓発のための研修会を行ったりしています。

教職員を対象とした研修会

聴覚障がいのある児童生徒の支援担当教員及び適応支援非常勤講師等を対象とした研修を実施しました。

日 時	主な内容
7月7日(金) 15:00 ~ 16:30	1 講話「聴覚障がいとその支援」 2 情報交流会
11月30日(木) 14:30 ~ 16:30	1 デジタル補聴システム ロジャーについて
2月1日(木) 15:00 ~ 16:30	1 事例研究会 2 情報交流会

昨年度はすべて恵那総合庁舎にて参集型で実施しました。

学級担任、『ことばの教室（通級による指導（言語））』の担当者、介助員・支援員の方々の参加がありました。

- ・きこえにくさや補聴器の体験
- ・環境整備や、支援のポイント
- ・教材・教具の紹介 など

支援訪問

支援要請を受けて要請先に出向き、具体的な指導・支援の方法について助言や情報提供を行いました。

	幼・保・こ	小学校	特別支援学校
実施数	3園	3校	1校
対象者数	3人	6人	1人

授業授を参観後、担任や担当職員と対象幼児児童生徒の実態や支援内容についての情報共有、具体的な支援方法の検討、保護者との面談を実施しました。必要に応じて岐阜聾学校の担当者の協力を得ながら、実施しています。

また、東濃地域から岐阜聾学校や愛知県立千種聾学校に通う幼児の指導参観も実施しました。

理解・啓発授業

聴覚障がいのある児童生徒の在籍する学校において、他の児童生徒に向けた理解・啓発授業を、学年の実態に応じた内容で実施しました。



『きこえにくって どんなこと？』

○多治見市立昭和小学校 1学年2クラス



保護者向け相談会

聴覚障がいのある幼児児童の保護者に向けて情報提供をするとともに、日頃の悩みや願いについて話し合う座談会や個別懇談の時間を設けています。

日 時	主な内容
9月21日(木) 14:30~16:30	1 聴覚障がいと手話について 2 座談会 3 個別懇談
12月15日(木) 14:30~16:30	1 補聴器期の活用について 2 座談会 3 個別懇談

第1回の相談会では、恵那市の設置手話通訳：永井小百合氏に『聴覚障がいと手話について』のお話をいただきました。

乳幼児から高校生まで幅広い年代のお子さんの保護者の方にご参加いただき、座談会では経験談や現在の悩みなどを話していただきお互いに情報交流をすることができました。